

「高塚が一番」左腕川口から猛攻6点

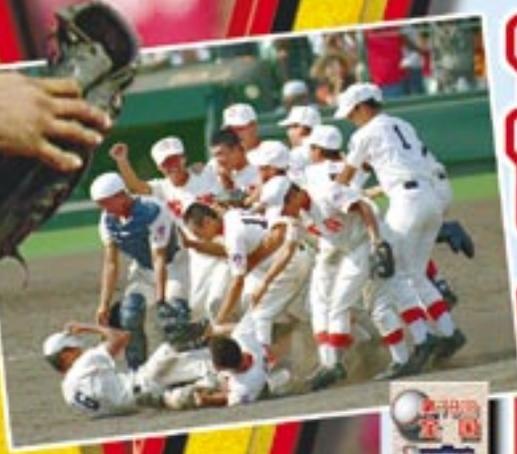
日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

インターネット版号外

8月21日
木曜日
1997年
(平成9年)

初智弁和歌山

4093校のエクスタシー



高校野球

(和歌山)

智弁和歌山	0	0	1	1	0	0	1	2	1	6
21日・甲子園(決勝)										
平 安	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

(京 都)
【智】藤谷、清水-中谷
【平】川口-山田

智弁和歌山対平安 平安最後の打者山田を投ゴロに打ちとり、初優勝を決めた智弁和歌山バッテリーの清水(右)と中谷は抱き合って喜びをあらわした。右はマウンドに駆け寄る智弁和歌山ナイン

豪打の智弁和歌山(和歌山)が、4093校の頂点に立った。21日午後1時、第79回全国高校野球の決勝戦は、好天のもとプレーボール。智弁和歌山が、大会屈指の好投手・川口知哉を擁する平安(京都)を6-3で下して、夏の大会初優勝を飾った。

智弁和歌山は、3回先手を取り、途中平安に逆転されたが、7回追いついた。8回には2死一、三塁の場面で中山三塁手が渾身のタイムリー二塁打を放ち、再逆転した。投げても藤谷-清水の継投で、平安の反撃を断った。川口は、この日も156球の力投。一人で6試合、819球を投げ抜いたが、最後は力尽きた。